

成人式 地元で大人へ一歩

三河各地で成人式が開かれた12日、晴れ着やスーツに身を包んだ新成人がそれぞれの地元で祝福を受け、大人への第一歩を実感した。



飛躍を願って風船を放つ新成人たち＝豊田市藤岡飯野町で

五千三百四十六人が新成人となる豊田市は、三・十一、十二日の三日間に分けて市内二十七地区で「新成人を祝う会」を開いた。

藤岡飯野町の藤岡交流館で十二日にあつた藤岡地区の式典には、百十七人が参加。藤岡中の生徒がソーラン踊りで先輩たちの人生の節目を祝つた。

式典後、飛躍を願つて風船を放つ新成人たち＝豊田市藤岡飯野町で

飛躍願い風船放つ

豊田

藤岡地区出身で、県立農業大学校（岡崎市）一年の樋口翔太さん（左）は取材に「『自分に誇れる自分であります』をモットーに、強い意志を持ち立派な養豚農家になりたい」と意気込んでいた。



笑顔で母校の校歌を歌う新成人＝豊橋市の豊城地区市民館で

恩師が祝辞 夢語らう

豊橋

中日・伊藤選手
会場を笑わせる

豊橋市の新成人は約四千人で、小学校区ごとに式典が開かれた。豊城地区市民館では、八町小学校の卒業生二十四人が集合。和やかな雰囲気の中、恩師らが次々に登壇して祝辞を述べ、成長した教え子の姿に目を細めた。

小学校の卒業アルバムに将来の夢を「政治家」と書いたことを、恩師に取り上げられた名城大農学部（四年）の本田陸斗さん（左）は、「いまは環境問題を意識している。小さいときから、夢は少しずつ形を変えているが、前を向いて進んでいきたい」と話した。

（山谷恵裕）



式に臨む振り袖やスツーツ姿の新成人＝岡崎市高隆寺町の岡崎中央総合公園武道館で

「令和の大人に」決意

岡崎

岡崎市の武道館であり、三千二百七十八人が出席した。新成人を代表して小川拓也さんら六人が「令和にござわしい大人になりたい」と決意を述べた。内田康宏市長は「自らの活力と若々しい感性で、これから的人生を切り開いてほしい」と若者の門出を祝った。愛知教育大に通う伊藤颯汰さん（左）は片寄町では取材に「中学校で理科の教諭になつて、野球部の顧問になりたい」と目標を語った。

（鎌田旭昇）

蒲郡市では市民会館で、百七十六人が集まつた。新成人の実行委員らが企画した。

（蒲郡）
中日・伊藤選手
会場を笑わせる

した出身中学ごとのインタビューでは、形原中を卒業した中日ドラゴンズの伊藤康祐選手（左）も登場。「先生方にはもうちょっと内申点を上げてほしかった」と会場を笑わせた。

（木下大賀）